



看護部のご紹介① (3階東病棟)

3階東病棟は整形外科・泌尿器科・小児科の混合病棟と、地域包括ケア病床で構成されています。整形外科は、ほぼ毎日手術が行われ、特に膝や股関節の人工関節手術は毎週2～4件の手術が行われています。高齢者に多い腰椎や大腿骨の骨折、冬期間は手首の骨折等、幅広い整形外科疾患への看護を行っています。

泌尿器科は昨年3月に常勤医師が着任し、今まで当院で出来なかった手術や検査などでもできるようになり、「地元で治療ができてよかった」と嬉しい言葉を頂くことも多くなりました。

当病棟は、ご高齢の患者様も多く、環境の変化や手術等による認知機能の低下や一時的な混乱をきたすことを予防するため、環境・生活リズム等に配慮した看護を行ない、少しでも入院前の身体機能に近づけるよう医師やリハビリ部門と協力した看護を行ない、安心した自宅・施設生活への復帰ができるよう、退院調整看護師や社会福祉士とも連携した看護を提供しています。

看護部の理念である「安心安全であたたかい看護の提供」を目指し看護師17名、看護助手5名で対応させていただいております。

入院中、ご心配な事等があればお気軽にお声かけください。

【3階東病棟 病棟課長 加藤 真澄】



地域包括ケア病床のご紹介

地域包括ケア病床とは、急性期治療の終了後、在宅生活や介護施設に戻ることが不安な方に、一定期間(最大60日)入院していただき、退院に向けての医療管理・診療・看護・リハビリ・退院支援を行い、安心して在宅(施設)復帰できることを目標にした病床です。

- 【対象となる方】
- ①入院治療により病状は回復したが、もう少し経過観察が必要な方
  - ②在宅生活復帰に向けたリハビリテーション・介護体制準備が必要な方
  - ③在宅療養中で一時的に入院が必要な方

地域包括ケア病床では、皆様の在宅(施設)復帰をスムーズに行うため、関係機関との連携の他、在宅復帰支援計画に基づき主治医・看護師・リハビリ部門・退院調整部門が連携しお手伝いします。併せて退院調整看護師・社会福祉士が皆さんの退院支援と退院後のサポートを行います。利用ご希望の方は地域医療相談係、又は、看護師にご相談ください。



受診についてのご相談や診療予約・転院のご依頼・医療や福祉についてのご相談については 地域医療相談係 で承ります。お気軽にお問い合わせください。

地域医療相談係直通FAX 0153-72-5680

町立中標津病院

〒086-1110 標津郡中標津町西10条南9丁目1番地1

代表電話:0153-72-8200

FAX :0153-73-5398

毎月の診療体制については、診療体制表やホームページにてご確認ください

ホームページ <http://nakashibetsu-hospital.jp>